

授業改善推進プラン 国 語 [小学校第4～6学年]

昭島市立拝島第一小学校

学年等	項目	内 容
令和元年度 平成元年10月 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	○市学力調査の結果において話の内容を聞き取る力では目標値と同程度だった。日直スピーチや話を聞く場面での意識が徐々に育ってきている。言葉の学習では、文の構成(主語・述語)について目標値を上回っている。 ▲漢字の読みが10%書き取りが20%、文章を書く問題が15%と目標値より低く課題である。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・漢字の正確な字形、読み方、意味の理解や活用能力。 ・文章の内容を読み取る力。作者の考えをまとめたり、場面を理解し主人公の気持ちを想像したりする力。
	具体的な授業改善の方策	・授業での書き取り練習、朝学習、家庭学習などでの反復練習。 ・国語辞典を活用し、意味調べや言葉調べなど語彙を増やしていく活動を取り入れる。 ・群読や音読を通して声に出して読む場面を設け、内容理解や場面を想像する活動を取り入れる。 ・読書活動の時間を確保していく。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○2学期の市学力調査では、「読むこと」の平均正答率は目標値を超えることができた。 ▲「書くこと」の平均正答率は目標値を13%程度下回り、児童が苦手としている。 ・「書く能力」を高める手立てとして、①日常の中で書く場面を増やす。②説明文や物語教材のキーワードやキーセンテンスを意識し字数に気を付けて本文をまとめさせる。③作文を書くときに段落を意識させる。
令和2年度 令和2年10月 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	○市の学力調査では、「読むこと」の平均正答率は目標値を超えることができおり、読み取る力はある。 ▲「書くこと」の平均正答率は、目標値を13%程度下回り、児童が苦手としている。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・「書く能力」を高める。
	具体的な授業改善の方策	①日常の中で書く場面を増やす(自学で日記や観察、作文などを書く)。 ②説明文において、筆者の考えを見つけ、字数を制限し文章の要旨を書かせる。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○都の学力調査の結果では、「読むこと」と「話す・聞く」の平均正答率が65%を超えることができた。 ▲「知識・理解」の平均正答率は47%で、児童が苦手としている。 ・「知識・理解」で、文中の詳しくする言葉とその言葉がどの言葉を詳しくしているかを考えることができおらず、主述の関係や修飾、被修飾の関係を、学習している本文の中で指導していくようにする。
令和3年度 令和3年10月 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	○学力調査の結果では、「話す・聞く」の平均正答率が73%を超えることができた。 ▲学力調査の結果では、「書くこと」の平均正答率が56%で「読むこと」の平均正答率が44%である。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	「書く力」と「読む力」を伸ばし、それを表現する力をさらに伸ばしたい。
	具体的な授業改善の方策	①国語科に関わらず、自分の考えを書く場面を多くする。(算数科や社会など) ②日常の中で書く場面を増やす(日記や観察、作文などを家庭学習の中に取り入れる)。 ③説明文において、筆者の考えや思いや願いを読み取り、時数を制限し文章の要旨を書かせる。
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	○全国学力学習状況調査の結果では、平均正答率が58%を超えることができた。 ▲文章を構成して順序立てて文章を書くことを苦手としている児童が多い。 ・文中の詳しくする言葉とその言葉がどの言葉を詳しくしているかを考えることができおらず、主述の関係や修飾、被修飾の関係を、学習している本文の中で指導していくようにする。